

洛和会音羽記念病院

地域連携 NEWS

Vol.
15

〒607-8116 京都市山科区小山鎮守町29-1 TEL 075(594)8010(代) FAX 075(593)8035 <http://www.rakuwa.or.jp/kinen/>

遠方の患者さんも 受診しやすい創傷診療体制を

- 専門分野** 下肢を中心とする慢性創傷
- 専門医認定・資格など** 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医
臨床研修指導医



京都下肢創傷センター
まつばら くにひこ
部長 松原 邦彦

糖尿病や腎臓病、動脈硬化症などが原因で足の血流が悪くなり、皮膚や皮下組織が欠損する下肢潰瘍や壊疽の患者さんが増えています。洛和会音羽記念病院では、透析患者さんが日帰りで創傷診療が受けられる臨時透析(ゲスト創傷ケア)を受け入れています。また、遠方の患者さんでも来院しやすいよう送迎サポートも実施しています。何カ月も治らないような傷でお悩みの患者さんがおられましたら、ご相談ください。

受け入れ実績のある地域



上記エリア
以外でも
気軽にご相談
ください。



透析治療中の回診時に創傷ケアを施す様子

日帰りで透析治療と診察が可能な 「臨時透析 創傷ケア」のご案内

患者さんの
安心・安全のため、
スムーズな連携体制を
整えています

透析治療中に下肢創傷の診察・処置が可能です。日帰りだけでなく、必要に応じて入院（洛和会音羽病院・洛和会音羽記念病院）での加療にも対応いたします。



難治性潰瘍の治療について

潰瘍を伴う重症の閉塞性動脈硬化症に対し、吸着式血液浄化用浄化器（レオカーナ）を用いた治療を行っています。体から血液を取り出して動脈硬化を促進するLDLやフィブリノーゲンをレオカーナで吸着し、再び血液を体に戻して下肢の血流改善を図ります。3カ月の間に24回を1クールとして行います。

装具外来（毎月2回）

義肢装具士と連携し、下肢切断後の歩行に用いる装具や、歩行の負担を軽減する医療用インソール（靴の中敷き）などを作製します。また、使用中の装具の調整なども行っています。

診察・処置の流れ



送迎サービス

ご自宅（介護施設）と当院間の送迎サービスを実施しています。ご利用についてはお問い合わせください。



臨時透析・創傷ケアのお申し込みは、
以下にご記入の上、FAXにて送信ください

FAX 075 (593) 8035

名前:	様	生年月日:	年 月 日	備考:
ADL:	<input type="checkbox"/> 独歩 <input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 車いす (その他:)			
透析日:	<input type="checkbox"/> 火・木・土 <input type="checkbox"/> 月・水・金 (その他:)			
来院希望日:	月 日	※ご希望がある場合のみ記入		
添付書類:	<input type="checkbox"/> 診療情報提供書 <input type="checkbox"/> 透析サマリ <input type="checkbox"/> その他 ()			送迎希望: <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

洛和会音羽記念病院
地域連携課

ご意見・ご質問・ご要望など承ります

受付時間 月～土曜日 午前8時30分～午後5時15分

連絡先 TEL 075(594)8010(代)
FAX 075(593)8035
E-mail msw_k@rakuwa.or.jp

